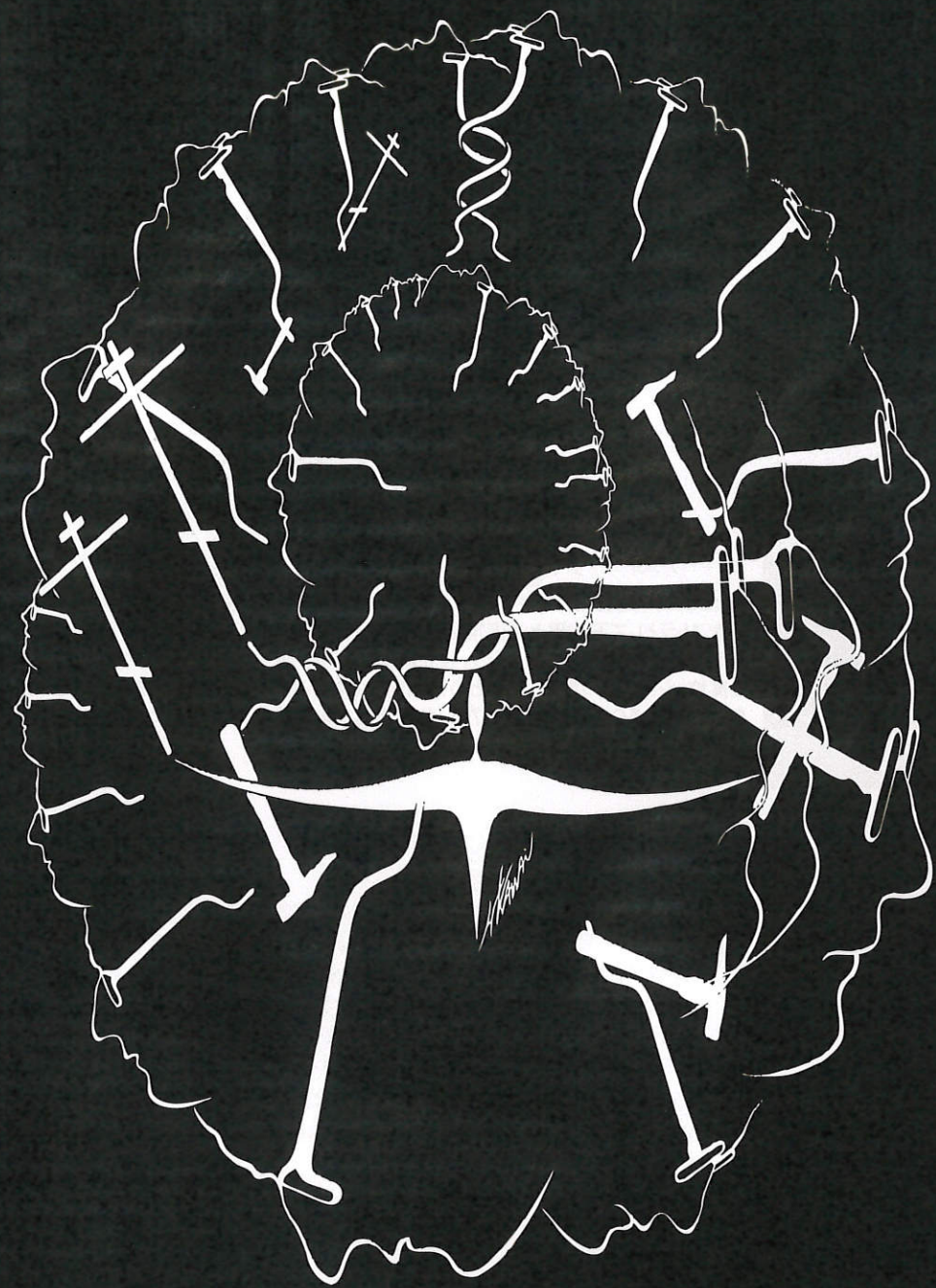
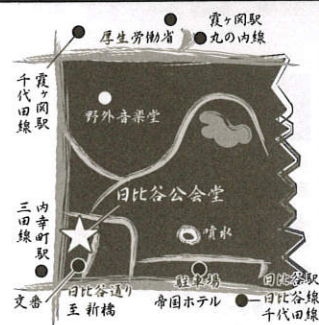




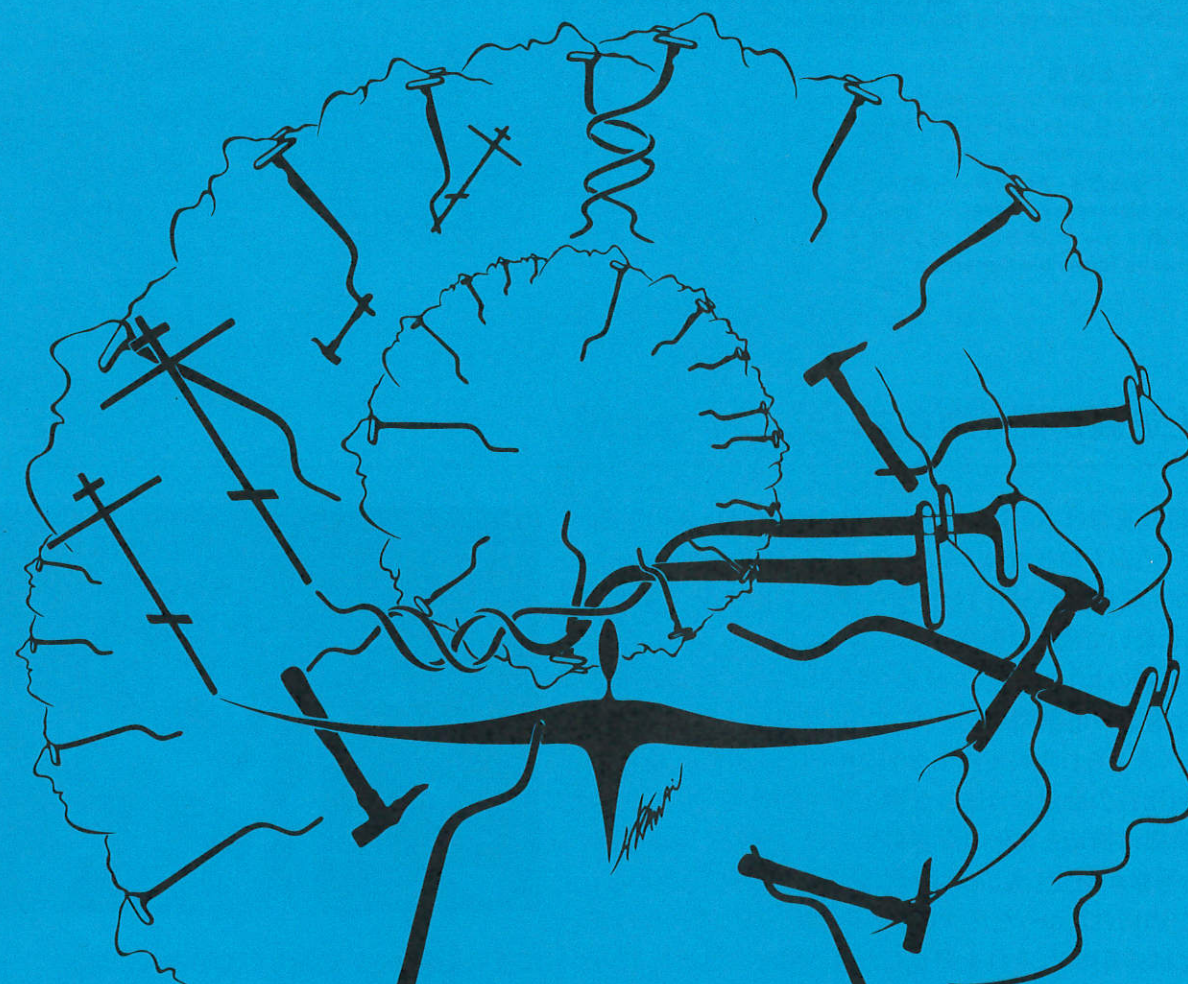
#### 交通アクセス

- 東京メトロ 丸の内線  
「霞ヶ関駅」下車 B2出口より徒歩約5分
- 東京メトロ 日比谷線又は千代田線  
「日比谷駅」下車 A14出口より徒歩約3分
- 東京メトロ 日比谷線  
「霞ヶ関駅」下車 A5出口より徒歩約5分
- 東京メトロ 千代田線  
「霞ヶ関駅」下車 C4出口より徒歩約3分

- 都営地下鉄 三田線  
「内幸町駅」下車 A7出口より徒歩約2分
- JR 山手線・京浜東北線  
「有楽町駅」「新橋駅」下車  
日比谷口出口より徒歩約10分



# 日露友好 ショスタコーヴィチ プロジェクト 2012



ШОСТАКОВИЧ  
2012

Conducted by

Мити́счИно́вэ

～日比谷公会堂～

# 日露友好 ショスタコーヴィチ・プロジェクト 2012

井上 道義

2012年

3月4日(日) 14:30開演(予定) 14:00開場  
Sunday, March 4, 2012 at 2:30 p.m.

シchedrin: バレエ「カルメン」組曲 (ビゼーのオペラ「カルメン」による)

Shchedrin: "Carmen" Suite after Bizet's Opera

ショスタコーヴィチ: 交響曲第14番 ト短調 op.135

Shostakovich: Symphony No.14 in G minor op.135

指揮 / 井上道義

Michiyoshi Inoue, Conductor

ソプラノ / アンナ・シャファジンスカヤ

Anna Shafajinskaja, Soprano

バス / セルゲイ・アレクサーシキン

Sergei Aleksashkin, Bass

管弦楽 / オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra Ensemble Kanazawa

## 井上道義が熱く語るプロジェクトの全貌

人間の運命は本当に一寸先もわからない。ホールの運命だってそうかも知れない。軍人会館といわれ強い造りだったはずの九段会館が3月11日に崩れ落ち、日比谷公会堂はビクともしないで周りの地面がいつせいに沈下しただけだった。卵の殻のような構造といえるつくりのホール中心部分は、堅固な構造の市制開館側と、あの観客泣かせの階段との間で優しく支えられたのだろう。2011年正式な耐震試験を終えて、日比谷公会堂は日比谷公園と野外音楽堂と共に、日本の西欧都市構造と文化の受容の生きている例として東京都による補修が決定した。あの時代は「そこしかなかったから」音楽が途切れなかっただけでは、何かマジックがああホールにはあるのだ。それを発見したのは僕だけでなく、若いお客さん達だったのだ。ホワイエから客席に入る一瞬、そこに何かが生んでいるような「気」があり、客席から見える舞台は文字通り襟を正す何かを感じるというのだ。二階からも手を伸ばせば届くような距離の舞台だから、オーケストラの個々の奏者の腕の違いさえ聞こえる、隠れることの出来ないごまかしの効かないホールである。『スピンホール!』と僕は呼ぶ。実は生半可なアマチュアでなく真の音楽家でないところ



に結果を残せない透徹した本物志向の場。

まだ音楽で身を立ようなどと思もしなかった子供の頃、なんてひどい音なんだと思ったのは、まだレベルの低かった某東京のオーケストラでの「ショスタコーヴィチ: 交響曲第5番」だった。人間の運命は先がわからない。そんな強い洗礼を受けた私が、今あのホールを『ショスタコーヴィチの聖地』としようとしているのだから。でもそれこそが真実なのだ。僕だっていつどうなるか判ったもんじゃない。想定外のことは常に起こるのだ。今日、健康を感謝し、いい音楽が聴け、美人を愛でる喜び?

それ以外人生になにかあるか?

井上 道義

## Profile



井上 道義 (オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督) Michiyoshi Inoue, Music Director

1946年生まれ。桐朋学園大学にて齋藤秀雄氏に師事。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督・常任指揮者を歴任。1999~2000年、マーラーの交響曲全曲演奏会を行い「日本におけるマーラー演奏の最高水準」と高く評価された。2007年、日露5つのオーケストラと共に「日露友好ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト2007」を東京・日比谷公会堂にて開催し、音楽・企画の両面で大きな成功を収めた。2010年、『平成22年度京都市文化功労賞』、社団法人企業メセナ協議会『音もてなし賞』受賞するなど、音楽だけに留まらない多岐にわたる活躍に多方面より賞賛の声が寄せられている。2007年1月よりオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、ならびに石川県立音楽堂アーティストティック・アドバイザーに就任。ラ・フォル・ジュルネ金沢を含む多くの実験的企画を敢行し続けている。自宅にアヒルを飼っている。



アンナ・シャフジンスカヤ (ソプラノ) Anna Shafajinskaja, soprano

ウクライナのオデッサ生まれ。バヴァロツィ国際声楽コンクール優勝。以来、ロイヤル・オペラ、パリ・オペラ座、リセウ劇場、フィレンツェ歌劇場、ドレスデン州立歌劇場、マリンスキー劇場、ボリショイ劇場、新国立劇場等世界各地の歌劇場に出演。「トゥーランドット」、「トスカ」、「アイダ」等ドラマティック・ソプラノの諸役を歌い好評を博している。ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト2007に出演。



セルゲイ・アレクサーシキン (バス) Sergei Aleksashkin, bass

旧ソ連のサラトフ生まれ。1984年以來マリンスキー劇場を代表するバス歌手として数々のプロダクション、世界各国へのツアーでも圧倒的な存在感で常に聴衆を魅了。国外でもザルツブルク・イースター、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場等に登場。世界中のオーケストラとも共演しているが、ショスタコーヴィチの交響曲第13、14番ではショルティ指揮シカゴ響、ヤンソンス指揮バイエルン放送響などと名盤も残している。ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト2007に出演。



オーケストラ・アンサンブル金沢 Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、故岩城宏之が創設音楽監督を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。金沢駅に隣接する石川県立音楽堂を本拠地とし、定期公演、海外公演など年間約110公演を行う。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス (現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー) 制を実施。ジュニアの指導、邦楽との共同制作など育成・普及活動にも積極的に取り組む。メジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。2007年、井上道義を音楽監督に迎え、新たな活動を展開。2008年より「ラ・フォル・ジュルネ金沢」音楽祭の中心的役割を担っている。

## ショスタキスト井上道義

2007年の日比谷公会堂。初冬の寒さを吹き飛ばす熱気と感動の「ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト2007」は、自他共に認めるショスタキスト(?)井上道義のタクトの下、ショスタコーヴィチ(1906~1975)の生誕100年を記念して内外のオーケストラ計7団体が競演するという、日本のロシア音楽演奏史上未曾有の大イベントだった。この企画はまた、クラシック界から忘れ去られようとしていたかつての殿堂・日比谷公会堂の再生を目指したのもであった。井上とショスタコーヴィチとの本格的な関わりは京響時代の1990年前後に始まり、筆者と共に活動した1990年代半ばの日本ショスタコーヴィチ協会を経て、2000年以降は「ショスタコーヴィチ祭り」としてロシア楽壇にもしばしば登場して高い評価を定着させるまでになり、こうした活動の集大成が2007年の

プロジェクトとして結実したのである。あれから4年。東日本大震災など多くの天変地異や政治経済の激変を体験して、演奏家も聴衆も変わった。私たちは音楽に携わることを過去の天才たちから改めて突きつけられているような気がする。2012年の会場は4年前と同じ虚飾のない日比谷公会堂。井上がメインに取り上げるのは、15曲の中でも特に演奏回数の少ない交響曲第14番。人間の様々な死の在り方を主題にしたこの作品を通して、ショスタコーヴィチのさらなるメッセージを引き出し、私たちに新たな感動をもたらしてくれるに違いない。

一柳 富美子 (音楽学者)

主催: ショスタコーヴィチプロジェクト実行委員会 2012

後援: 在日ロシア連邦大使 / ロシア連邦文化協力庁

協力: 特定非営利活動法人 つのはず文化・まちづくりネット / 日比谷公会堂 / 日比谷公会堂の再生を願う会

マネジメント: KAJIMOTO

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会場: <b>日比谷公会堂</b><br>Hibiya Public Hall                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <b>S¥6,000 A¥5,000</b>                                                                    |
| チケットのお申込み<br>カジモト・イープラス ☎0570-06-9960<br>※音声自動応答ですが、オペレーター (10時~18時) もご選択いただけます。                                                                                                                                                                                                                                                                           | <a href="http://kajimotoeplus.com/">http://kajimotoeplus.com/</a><br>ホームページからもお申込みいただけます。 |
| チケットぴあ 0570-02-9990 (Pコード: 155-199) e+ (イープラス) <a href="http://eplus.jp/">http://eplus.jp/</a><br>東京文化会館チケットサービス (03) 5815-5452                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                           |
| <b>井上道義 オフィシャルサイト</b> <a href="http://www.michiyoshi-inoue.com/">http://www.michiyoshi-inoue.com/</a>                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。</li> <li>● 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。</li> <li>● 団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。</li> <li>● (株) 梶本音楽事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座8-6-25 河北ビル TEL: (03) 3574-0550 <a href="http://www.kajimotomusic.com/">http://www.kajimotomusic.com/</a></li> </ul> |                                                                                           |



便利なケータイサイトもぜひご利用ください。  
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応  
チケットにも購入いただけます。

カジモト・イープラス